

サラシナショウマ

【 *Cimicifuga simplex* 】

科名 キンポウゲ科

属名 サラシナショウマ属

薬効・用途

根茎（升麻 ショウマ）は、解熱、解毒、抗炎症作用があり、感冒、痔、口内炎、扁桃炎などに用いられる。乙字湯、升麻葛根湯、補中益気湯、立効散などの漢方方剤配合される。



・花期：7～9月

備考

夏緑性の多年草。日本、朝鮮、中国、シベリアなどに分布する。和名の「サラシナ」は若菜を茹で水にさらして山菜として食したことに由来し、「ショウマ」の語源は、葉が麻に似て薬性（薬としての性質）が上昇（上升）するものであると言われるが、よく判らない。両性花と雄花。